

独立行政法人国際農林水産業研究センター平成13年度年度計画

業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 評価・点検の実施

主要な研究について、研究の推進方策、進捗状況の点検及び成果の評価のため、「顧問会議開催要領」、「運営評価会議開催要領」及び「研究計画・成果検討会開催要領」を作成し、これら会議を開催する。

研究職員の業績評価のため、「研究職員業績評価委員会開催要領」を作成し、同委員会を開催する。

2 研究資源の効率的利用

中期計画達成に有効な競争的資金に積極的に応募する。

研究費の重点的な配分方法に関する基準を作成し、これに基づき研究費を配分する。

「共同利用機器等管理要領」を定め、高額機器の管理者を指名し、年間利用計画、利用規程及び利用マニュアルを作成し、機器の効率的な利用を図る。

圃場委員会を設置し、年間利用計画の作成、利用の調整を行い、圃場の効率的な利用を図る。

3 研究支援の効率化及び充実・高度化

特許、品種登録等の知的所有権の取得・移転に関し、事務的な支援体制等を強化する。

計算情報センター 2000 年システムの活用を進めるため、セミナーに参加させる。アジア太平洋高度ネットワーク (APAN) に関連するワークショップ等を企画する。JIRCAS/STAT (国際農林水産業統計情報システム) 等を外部機関との連携・協力により拡充する。

図書資料管理システムや文献情報検索システムの活用に向けた説明会を開催する。庁舎、研究棟、熱帯温室の保守管理を外部委託する。

高度な専門技能を有する技術専門職員等を海外に出張させ、現地の研究職員の研究業務等を効率的に支援する。

4 連携、協力の促進

(1) 他の独立行政法人との連携、協力

他の独立行政法人や国際協力事業団等との連携・協力システムの構築に向けて、国際農林水産業に関する中核的研究センターとしての機能を整備する。

(2) 開発途上地域の試験研究機関等との連携、協力

これまでの国際共同研究を継続するとともに、新たに東南アジア漁業開発センターと「マングローブ汽水域における魚介類の持続的生産システムの開発」のプロジェクト研究を開始する。

国際共同研究の相手機関等と必要に応じて覚書の見直しを行う。

「招へい共同研究事業実施規程」を整備するとともに、開発途上地域の研究者、研究管理者等を招聘し、共同研究を推進する。

(3) 産学官の連携、協力

「共同研究規程」を整備し、国内外の研究機関等との連携・協力を積極的に推進する。

共同利用可能な施設・機器等をホームページ等で公表する。

「客員研究員受入規程」を作成し、国内外の研究機関等との産学官の共同研究を積極的に推進する。

5 管理事務業務の効率化

会計事務の効率化のため、ファームバンキングを導入する。

海外滞在研究員の所在地に総務担当職員を出張させ、事務処理を支援する。

6 職員の資質向上

各種研修等の開催を迅速に通知し、職員の積極的な参加を促す。

各種制度による海外での研究実施を支援する。

研究員の博士号取得を奨励し、適切に指導する。

7 海外滞在職員等の安全と健康の確保

「安全衛生委員会」を設置し、職員の安全と健康の確保に努める。

海外滞在職員等の安全を確保するため、緊急時に速やかな対応ができるように「緊急時対策委員会」を設置すると共に、外務省や国際協力事業団との連携を密にし、常時、海外情報や危険・医療情報等の収集及び海外出張中の職員への連絡体制を確保する。

海外に出張する者への「出張の手引き」を整備し、出張者の安全と健康の確保に資する。

国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 試験及び研究並びに調査

A 開発途上地域の食料需給改善のための農林水産業の動向解析、国内外の研究開発動向の把握及び技術開発方向の解明

1) 世界の食料需給の動向解析と共同研究に係わる総合戦略の策定

(1) 主要な開発途上国の研究動向の解明及び中期的国際共同研究戦略の策定

開発途上国や国際研究機関との国際共同研究戦略の策定

担当：国際情報部

研究計画：中国、アジア、南米、アフリカ等及び先進諸国における、開発途上地域を対象とした食料及び環境問題等に関する研究動向を調査する。

アジア太平洋地域等の情報収集・解析・戦略策定のための情報ネットワーク及び地理情報システム等の利用技術の開発

担当：国際情報部

研究計画：農林水産業に係わる情報データベースへのアクセスを容易にするための技術開発及び圃場等に係わるGIS（地理情報システム）データ等の蓄積を行う。

(2) 中国主要省等の食料需給動向の解析等による世界の食料需給モデルの改良

中国主要省等における食料需給動向解析

担当：国際情報部

研究計画：中国の穀物主産地における食料需給、農村経済及び農家経営等の実態に関するデータを収集・解析し、その動向を明らかにする。

中長期的世界食料需給モデルの改良

担当：国際情報部

研究計画：地球温暖化等の環境変化要因をも踏まえた長期の需給予測の精度を高める視点から、世界食料需給モデルの供給セクターを改良する。

2) 開発途上地域における食料・環境に係わる地域特性及び発展方向の解明

(1) インドネシア、西アフリカ等における農林水産業の発展阻害要因と技術的・経済的発展方向の解明

インドネシア、タイ等における生産・流通技術の評価と発展制約要因の解明

担当：国際情報部、食料利用部、生産環境部

研究計画：インドネシアにおける農産物の生産・流通技術について、社会経済的条件や技術的合理性等の視点から評価する。

西アフリカ、ベトナム等における稲作を中心とする栽培管理及び経営技術の問題点の解明

担当：国際情報部

研究計画：西アフリカ、ベトナム等の稲作を中心とする農家の耕地等の土地利用状況及び経営の概況を把握し、その改善方向を考察する。

(2) インドネシア、ベトナム等における持続的ファーミングシステムの展開方向の解明
インドネシア、ベトナム等における新技術の導入条件と持続的ファーミングシステムの展開方向の解明

担当：国際情報部、生産環境部、畜産草地部、林業部、水産部

研究計画：インドネシアにおける高冷地のファーミングシステム及びベトナムにおける農畜水産複合営農システムの多様性等を把握する。

B 開発途上地域の農林水産業の持続的発展のための研究開発

1) 開発途上地域における農林水産物の環境に調和した持続的生産技術の改良・開発

(1) 多様な耕地生態系における窒素等の物質循環の評価と土壤改良技術の改善
中国、東北タイ等における窒素等の物質循環の解明

担当：生産環境部

研究計画：管理された試験圃場において窒素等の循環を定量化し、物質循環の実態の量的把握を試験圃場から研究対象サイトへと展開させる。

乾燥地における塩類土壌等の特性解明と天然資源を活用した土壤改良技術の開発

担当：生産環境部

研究計画：乾燥地の土壌における多種類の塩類の析出条件をモデル系内で解析し、塩類集積過程の初期条件を調べる。

(2) タイ、ベトナム等における稲・畑作物の省力・省資源的生産技術の開発
省力化を目指した乾田直播・生育診断等に基づく稲栽培技術の開発

担当：生産環境部

研究計画：熱帯稲作における稲の生育や栽培技術上の問題点を摘出し、直播栽培等による生産性向上に向けた改良方向を検討する。

東北タイ等における持続的畑作体系構築のための土壤管理等による栽培技術の開発

担当：生産環境部

研究計画：熱帯畑作における作物の肥培管理や栽培技術上の問題点を摘出し、持続的土壤管理の視点から、その改良方向を検討する。

南米、アフリカ等の不良土壌における作物の適応機能の解明と栽培技術の開発

担当：生産環境部

研究計画：イネ・ダイズ等の作物における不良環境適応機能の品種間差を調べて、各作物の生理的評価基準を設定する。

効率的な水資源利用のための配水管理技術の開発及び小規模灌漑システムの評価

担当：生産環境部

研究計画：天水に依存する熱帯モンスーン地域の丘陵地帯における水資源利用状況の問題点を測量や聞き取り等により調査する。

(3) 東南アジア、南米等における稲・大豆等の主要病害虫の発生実態の解明

中国・東南アジア等におけるウンカ等の稲病害虫の発生実態の解明

担当：生産環境部

研究計画：中国産ハイブリッド水稻におけるウンカの多発化現象の実態と環境条件等の関係を解明する。

中国・南米等における大豆作等の主要病害虫等の発生実態の解明

担当：生産環境部

研究計画：南米における大豆のミナミネグサレ線虫等の発生実態と圃場管理履歴や栽培条件との関係を解明する。

(4) 農牧輪換システム等に適したイネ科牧草及びトウモロコシ茎葉等の地域低利用飼料資源の特性の解明

農牧輪換システム等に適したイネ科牧草等の生理生態学的特性の解明・評価

担当：畜産草地部、生産環境部

研究計画：異なる農牧輪換システムを実施した草地で栽培したイネ科牧草等の年間の乾物生産性を調べて、家畜飼料としての利用性を評価する。

タイ、中国等における低利用飼料資源等の栄養特性評価と調製法の開発

担当：畜産草地部

研究計画：中国等において調製したトウモロコシ茎葉サイレージ等の有機酸含量などの主要成分の特性を家畜栄養の視点から評価する。

(5) タイ、ベトナム等における牛・豚等の生理学的特性の解明と主要家畜疾病の実態の解明

タイ、ベトナム等における牛・豚等の栄養生理学的特性の解明

担当：畜産草地部

研究計画：タイの地域飼料資源や牧草等を給餌した乳用牛の生体の維持に必要なエネルギー要求量などの栄養代謝を調べて、その特性を評価する。

牛のトリパノソーマ症等の感染・発病機構の解明

担当：畜産草地部

研究計画：特定遺伝子欠損マウスをモデルとして、トリパノソーマ原虫感染後の発症経過における血液の生化学的変化を解析する。

(6) 熱帯低質林におけるフタバガキ等有用樹種の天然更新補助技術の開発

伐採インパクトの低減と森林の更新機構の解明

担当：林業部

研究計画：マレーシア熱帯林におけるフタバガキ科樹種の伐採・搬出のための集材路作設とその改善による環境インパクトの変動を調査する。

在来有用樹種の成長を促すカバーフォレスト造成技術の開発

担当：林業部

研究計画：フィリピン荒廃草地等におけるギンネム、ヤエヤマシタン等在来有用樹種苗の生長特性及び生育条件を解明する。

(7) 水産生物の環境と調和した養殖方法の開発

フィリピン、タイ等における環境向上機能を利用した増養殖技術の開発

担当：水産部

研究計画：新規養殖対象魚の親魚の成熟に及ぼす環境要因を解明し、併せて、マングローブ林の水質浄化機能を解析する。

ベトナム等におけるオニテナガエビ成熟過程で産生される卵黄タンパク質の動態解明

担当：水産部

研究計画：オニテナガエビの卵黄タンパク質を精製し機能を明らかにするとともに、エビの成長と卵黄タンパク質生成過程との関連を解析する。

フィリピン等における養殖魚介類の新規疾病診断技術の開発

担当：水産部

研究計画：フィリピン等におけるハタ類、エビ類等の養殖過程における飼育阻害要因を解析するとともに、疾病発生実態を調査する。

2) 開発途上地域における農林水産物の品質評価・流通・加工技術の改良・開発

(1) 東南アジアにおける米等の食料資源の形状・香り等の品質特性の解明

米等の嗜好特性の評価とその変動要因の解明

担当：食料利用部

研究計画：タイの香り米における香り成分の生成機構を生理生化学的に解明し、香り成分の高位生成条件を明らかにする。

根茎菜類等の機能成分の検索と作用機作の解明

担当：食料利用部

研究計画：疫学的情報等を基に、東南アジアで栽培される根茎菜類に含まれる食品素材用として有用な機能成分を調査する。

(2) 温湿度等の環境条件と連動した香り米等の品質劣化の簡易防止技術の開発と加工技術の改良・開発

太陽熱等を利用した米等の資材低投入型簡易乾燥技術の開発

担当：食料利用部

研究計画：タイにおける既存及び試作の小型簡易乾燥機器の特性を解明して、資材低投入の視点から、改良方向を明らかにする。

天敵・天然物質による米等の保全技術の開発

担当：食料利用部

研究計画：環境に調和した食料資源保全技術の開発に向けて、タイの貯穀害虫による米の量的・質的な損耗実態を調査する。

中国等における豆腐等の食品素材化技術の改良・開発

担当：食料利用部

研究計画：中国等における大豆・米等の食品素材の加工工程・品質の実態を調査し、改善の必要性や改善方向を明らかにする。

(3) オイルパーム廃材等の低利用木質資源の利用技術の開発

未低利用木質資源の高度利用のための技術開発

担当：林業部

研究計画：オイルパーム繊維等熱帯産低利用リグノセルロース類の利用に向けての研究の現状を把握し、より効率的な利用可能性を検討する。

(4) 中国における淡水魚等低利用水産資源のすり身等への利用技術の開発

中国淡水魚体及び加工残滓からの魚粉作製と栄養成分の解析

担当：水産部

研究計画：中国産淡水魚類の未利用部分の有効利用のため、調製した魚粉の栄養成分を分析して養魚飼料としての有用性を評価する。

3) 開発途上地域における遺伝資源及び生物機能の解明と利用技術の開発

(1) 乾燥等の環境ストレスに対する耐性機構の解明と組換え体作出技術の開発

シロイヌナズナ等における乾燥等の環境ストレス応答及び耐性の分子機構の解明

担当：生物資源部

研究計画：シロイヌナズナ由来の環境ストレス誘導性プロモーターをタバコに導入してス

トレス応答遺伝子の発現・調節様式を解明する。

稲等における乾燥等の環境ストレス耐性遺伝子組換え体の作出法の開発

担当：生物資源部

研究計画：シロイヌナズナより分離された転写因子の塩基配列情報等をもとにして、イネのストレス応答転写因子をDNAデータベースより探索し、クローニングする。

(2) 稲、小麦等における病虫害抵抗性等の評価技術の開発と育種素材の育成

中国等の稲の遺伝資源のイモチ病抵抗性及び多収性等の評価と育種素材の育成

担当：生物資源部、生産環境部

研究計画：国際稲研究所と共同で、イモチ病抵抗遺伝子を持つ準同質遺伝子系統及びイモチ病菌判別品種群を開発する。

中国等の小麦の遺伝資源の赤さび病抵抗性等の評価と育種素材の育成

担当：生物資源部

研究計画：半数体倍加系統を用いて中国及び日本の在来コムギ品種が持つ赤かび病抵抗性に係わる遺伝子の数を特定する。

南米等の大豆の遺伝資源の線虫、茎疫病抵抗性及び子実成分等の評価と育種素材の育成

担当：生産環境部、生物資源部

研究計画：中国在来の大豆遺伝資源の脂肪、蛋白質含有率を近赤外分析法等を用いて効率的に評価し、遺伝資源特性を明らかにする。

東南アジア在来葉菜類等の遺伝資源の栄養・機能特性等の有用形質の評価及び育種素材の育成

担当：生物資源部

研究計画：東南アジア在来の多くのヒユナ系統の植物学的、園芸学的及び栄養学的特性の評価を行い、遺伝資源特性を明らかにする。

(3) 熱帯・亜熱帯等の野菜・果樹等の遺伝資源収集、評価並びに保存

熱帯、亜熱帯等の作物及び微生物遺伝資源のサブバンク業務

担当：生物資源部、沖縄支所、畜産草地部、生産環境部、食料利用部

研究計画：これまでに導入された熱帯・亜熱帯稲の特性を評価し種子を増殖するとともに、未評価のサトウキビ遺伝資源の一次特性とその他の有用形質を評価する。

4) 開発途上地域における環境資源の特性評価と生物多様性の解明

(1) 農業生産に関する環境資源の特性評価と土地利用の変動機構の解明

タイ、インドネシア等における時系列・空間解析技術を用いた環境資源及び社会経済要

因の特性評価

担当：国際情報部

研究計画：地理情報システムを利用した既存の土地資源評価手法を比較検討し、精度の高度化のために評価手法を改良する。

(2) マレーシア等における熱帯林の再生技術及び持続的利用技術の導入条件の解明

マレーシア等におけるアグロフォレストリー生産環境造成技術の開発

担当：林業部

研究計画：アグロフォレストリー造成の基礎とするため、マレーシア熱帯林における早生樹人工林、荒廃2次林等の生態的特性及び環境特性を解明する。

マレーシア等におけるカバーフォレストを活用した農林複合技術の開発

担当：林業部、沖縄支所、生産環境部

研究計画：現地の流通作物種の栽培条件を調査、林間栽培の必要条件の解明及び栽培試験を行い、併せて、熱帯産キノコの発生条件を解明し、フクロタケ等熱帯産キノコの種菌を調製する。

(3) 東南アジアにおける沿岸、マングローブ汽水域生態系の水産重要魚種資源の変動過程の解明

東南アジアの沿岸、マングローブ汽水域生態系における水産重要魚種資源の変動過程の解明

担当：水産部、林業部

研究計画：ハマギギ、コニベ、ミナミフエダイ等の水産重要魚種の周年体長増加を測定するとともに、稚仔魚の成育環境の特徴を解明する。

5) 沖縄における研究

(1) サヤインゲン、稲等の耐暑性・耐塩性の特性評価と利用

サヤインゲン等の高温ストレス耐性に関する生理生化学的特性評価

担当：沖縄支所

研究計画：サヤインゲンについて高温ストレスによる受精阻害要因、高温ストレス関連物質及び水状態の変化を解析する。耐暑性関連遺伝子導入トマトの生殖成長期における耐暑性を解析する。有用育種素材の探索とそれらを用いた耐暑性雑種作出を行う。

ナトリウム塩排除機能等の耐塩性関連遺伝子の稲への導入と評価

担当：沖縄支所

研究計画：バクテリアの耐塩性機構を生理生化学的に探索する。藻類のもつナトリウムイオン輸送遺伝子をイーストへ導入する。

(2) サトウキビ、イモ類等の特性評価及び利用技術の開発

サトウキビ、イモ類等遺伝資源の有用特性評価及び利用技術の開発

担当：沖縄支所

研究計画：サツマイモのアントシアニン合成制御遺伝子断片を単離する。サトウキビ遺伝資源の初期生育特性を評価するとともに、有用遺伝子の単離を試みる。サトウキビの遺伝子導入を効率的に行うための手法及び材料を検討する。

(3) マンゴー、パパイア等熱帯果樹の樹形制御・食味等の特性評価及び大量増殖技術等の基盤技術の開発

マンゴー、パパイア等熱帯果樹の物質生産・開花・食味等の特性評価及び高品質系統の大量増殖等に関する基盤技術の開発

担当：沖縄支所

研究計画：熱帯果樹の個葉の物質生産力と環境条件との関係の解析、栽培特性や食味・品質に係る特性の品種・系統間差の解析及びパパイア等の遺伝子導入を効率的に行うための手法の開発を行う。

(4) 熱帯・亜熱帯に発生するカンキツグリーニング病等の重要病害虫の発生生態の解明
ミカンキジラミ等及びそれらの天敵生物の生理生態的特性の解明

担当：沖縄支所

研究計画：野外のゲッキツにおいてミカンキジラミとその寄生性天敵相及びこれらの発生動態を調査するとともに、その飼育系を確立する。アカホシカメムシを捕食するベニホシカメムシの休眠特性に及ぼす日長の影響を解析する。

カンキツグリーニング病等の生理生態的特性の解明

担当：沖縄支所

研究計画：カンキツグリーニング病病原体の抗血清を作製するとともに、媒介虫の保毒条件を検討する。

(5) 熱帯・亜熱帯島嶼における気象・土壌等に関わる生産不安定化要因の解明と節水・省肥栽培等対策技術の開発

熱帯・亜熱帯島嶼の気象・土壌等に関わる生産不安定化要因の解明と節水栽培等対策技術の開発

担当：沖縄支所

研究計画：サトウキビ栽培における地中灌漑に適した点滴チューブを検討するとともに、養液栽培の節水効果を評価する。夏期における高温、強日射が作物の生育反応に及ぼす影響を1日の時刻別に解明する。

サトウキビ等栽培環境における施肥窒素等の有効利用技術の開発と土砂・養分の動態解明

担当：沖縄支所

研究計画：調査流域での水質・流量観測とその解析を行うとともに、栽培土壌区での灌水

位置の違いが肥料動態に及ぼす影響を評価する。側枝苗春植え栽培での施肥窒素利用率を窒素同位体を用いて解明する。

(6) 稲等の世代促進における出穂特性等の変異固定技術の開発

地理的環境を利用した稲及び麦類の世代促進における出穂特性等の変異固定技術の開発
担当：沖縄支所

研究計画：石垣島の気候特性を活用した世代促進栽培が稲の穂長等の形質に及ぼす影響を評価するとともに、麦類の世代促進栽培が種子休眠性等に及ぼす影響を解明する。

2 専門研究分野を活かした社会貢献

(1) 分析、鑑定

「依頼分析・鑑定規程」を作成し、依頼分析・鑑定に的確に対応できる体制を整備する。

(2) 講習、研修等の開催

バイオテクノロジーに関する研修会をタイにおいて開催する。

国際シンポジウム・ワークショップ・セミナー等を積極的に開催する。

「研修生受入規程」を作成し、積極的に受け入れる。

国等の委託を受け、国際共同研究に従事する研究者等の研修・育成を推進する。

(3) 行政、国際機関、学会等への協力

行政、国際機関、学会等の要請に応じて、委員会、会議等に職員を派遣する。

国際協力事業団等の委託を受け、技術協力のために職員の派遣、研修員の受入れを行う。

行政、生産者、消費者等からの技術相談について、広報等を担当する専門官を配置して対応する。

3 成果の公表、普及の促進

(1) 成果の利活用の促進

研究成果情報を15件以上公表する。

研究成果情報を"JIRCAS News-letter"及び"JIRCASニュース"(各4回発行)に掲載する。

研究成果を不定期刊行物(JIRCAS Working Report Series等)を通じて公表する。

研究成果情報のデータベースを作成し、ホームページへ公開する。

(2) 成果の公表と広報

[成果の公表]

学術雑誌、機関誌等に108報以上の論文を発表する。

JIRCAS Journal を1回発行する。

JIRCAS国際シンポジウムを1回開催する。

研究成果の公表を目的としたJIRCASワークショップを5回以上開催する。

JIRCAS International Symposium Seriesを1回発行する。

JIRCAS Working Report Seriesを5冊以上、国際農業研究叢書2冊、JARQを4回発行する。

[成果の広報]

研究の成果に関する情報のデータベースを作成し、ホームページへ公開する。

各種の定期・不定期刊行物を通じて研究計画、業務報告、成果情報等を公開し、またデータベースを作成してホームページへ公開する。

JIRCASギャラリーを研究本館ロビーへ拡充し、パネル等を作成して一般公開や来客に対する情報公開を行う。

成果情報を記者クラブへ2回提供する。

(3) 知的所有権等の取得と利活用の促進

国内外への特許等を4件以上出願する。

研究者の知的所有権への理解を促す説明会、会議等を2回以上開催する。

知的所有権のデータベースを作成し、ホームページへ公開する。

予算、収支計画及び資金計画

(別紙 1)

1 予算

2 収支計画

3 資金計画

その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

(別紙 2)

2 人事に関する計画 (人員及び人件費の効率化に関する目標を含む。)

1) 人員計画

(1) 方針

本支所間の支払い等の会計事務の合理化を目指す。
国際総合プロジェクト研究の推進において重点化を図る。

(2) 人員に係る指標

常勤職員数については、独立行政法人移行時は164名、年度末は164名とする。

2) 人材の確保

選考採用により2名の研究者を確保する。
科学技術特別研究員を積極的に受け入れ、研究業務を加速化させる。

(別紙1)

予算、収支計画及び資金計画

1 予算

平成13年度予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	3,439
施設整備費補助金	78
受託収入	234
諸収入	0
試験場製品等売払代	0
その他の収入	0
計	3,751
支出	
業務経費	1,307
施設整備費	78
受託経費	234
試験研究費	212
管理諸費	22
一般管理費	371
研究管理費	31
管理諸費	340
人件費	1,761
計	3,751

2 収支計画

平成13年度収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	3,566
經常費用	3,566
人件費	1,761
業務経費	1,077
受託経費	226
一般管理費	371
減価償却費	131
財務費用	0
臨時損失	0
収益の部	3,566
運営費交付金収益	3,209
諸収入	0
受託収入	226
資産見返負債戻入	23
資産見返物品受贈額戻入	108
臨時利益	0
純利益	0
目的積立金取崩額	0
総利益	0

[注記]

1. 収支計画は予算ベースで作成した。
2. 当法人における退職手当については、役員退職手当支給基準及び国家公務員退職手当法に基づいて支給することとなるが、その全額について、運営費交付金を財源とするものと想定している。
3. 「受託収入」は、農林水産省及び他省庁の委託プロジェクト費を計上した。

3 資金計画

平成13年度資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	3,751
業務活動による支出	3,435
投資活動による支出	316
財務活動による支出	0
翌年度への繰越金	0
資金収入	3,751
業務活動による収入	3,673
運営費交付金による収入	3,439
受託収入	234
その他の収入	0
投資活動による収入	78
施設整備費補助金による収入	78
その他の収入	0
財務活動による収入	0

[注記]

1. 資金計画は予算ベースで作成した。
2. 「受託収入」は、農林水産省及び他省庁の委託プロジェクト費を計上した。

(別紙2)

その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

業務の適切かつ効率的な実施の確保のため、業務実施上の必要性及び既存の施設、設備の老朽化等に伴う施設及び設備の整備改修等を計画的に行う。

平成13年度施設、設備に関する計画

(単位：百万円)

施設・設備の内容	予定額	財源
病害ガラス室改修	78	施設整備費補助金